

04

げつようび

ふくいんの けいやくを にぎった ちらされた もの

使徒 8章 4～8節

他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。群衆はピリポの話聞き、その行なっていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くと、多くの中風の者や足のなえた者は直ったからである。それでその町に大きな喜びが起こった。

聖書に出てくるレムナントたちは、すべて奴隷や捕虜になりました。彼らには休む時間ありませんでした。仕事の終わる時間もありませんでした。主人が命じるとき、主人が願う時間内にしなければならなかったからです。「苦しい」と言うことはできず、「いやだ」ということばも言えませんでした。しかし、このように苦しい時期を過ごした人々を通して、神様は驚くべきみわざを成し遂げられたのです。その奥義は何でしょうか。

聖書のレムナントは、神様から与えられた約束を契約として握りました。彼らを通して、人々が生かされ始めました。さらに、彼らはすべての人が体験する問題に答え与えました。神様から与えられる力を通して、世の中が知ることができなくて、想像することもできない力が現れたからです。

いま、多くの人が天変地異のような災害に脅威を感じています。しかし、散らされた者である私たちが正確な福音を契約で握るとき、聖書に記録されている働きが同じように起きるでしょう。神様から与えられた契約を、より一層はっきりと握って、福音が伝えられることができるように祈りましょう。ある日、神様が備えられた時刻表に、世の中を生かす伝道者になっているでしょう。

きょうのみことば



神様、ありがとうございます。この時代を生かす福音を契約として握る散らされたレムナントとなりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



() に入る単語を聖書から探して書いて、みことばを完成させましょう。

しかし、ピリポが () と
() の御名について
宣べるのを信じた彼らは、男も女も
バプテスマを受けた。

使徒8章 12節のみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

ひとりで のこった ひとり

1列王
19章 7～8節

それから、主の使いがもう一度戻って来て、彼にさわり、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いからだ」と言った。そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた。

アハブ王と王妃イゼベルがバアルとアシェラの神に仕えて、神様を信じる人々を迫害して殺しました。そのとき神様のみことばを宣べ伝えた人がいます。エリヤです。彼の目には神様を信じる人が誰もいないように見えました。誰もいないところに一人残ったように思ったのです。それゆえ死にたいとさえ願いました。そのとき神様は、一人ぼっちで残ったエリヤにみことばを与えて、世の中を変え始められました。神様は今も神様のみことばを持つ残りの者に、すべてのことを準備しておられます。

この世の主であるサタンは、休むことなく働いていて、文化と経済を掌握しています。この世に属する人は、当然、神様を信じない不信仰でいっぱいになっています。その結果、あちこちには戦争とテロの恐怖や地震と火山などの自然災害が絶えず起きています。心の病気も伝染する時代です。それゆえ神様は、今もエリヤのように一人ぼっちで残った福音を伝えるひとりを探しておられます。

今日から神様によって現場に送られて、ひとり残った私になることを祈りましょう。神様によって送られた現場を生かす残りの者レムナントになって、神様の契約を伝えるようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。聖書のレムナントのように、この時代の残りの者となって、神様の契約をかたく握ることができるよう。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

えにしだの木の下で横になって眠っていたエリヤに、御使いがパン菓子と水を与えてくれました。それを食べたエリヤは力を得ました。神様が私にくださる霊的な力を求めて祈りながら、色をぬって絵を完成させましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人じゅんぱ
準備する資料

06

すいようび

こたえを うけた レムナント

イザヤ
6章 13節

そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や
樅の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえ
こそ、その切り株。

神の子どもはみんな、祈って答えを受けることを願います。ところが、考えごとが多く
て頭の中が複雑になっていたり、いろいろな人の話に耳を傾けていたりすると、神様が
くださる答えを逃すことがあります。また、自分のことばかり目を向けているなら、神様が
みことばで答えられていることを知ることができません。世の中を知って、福音を伝えるた
めにしなければならぬ勉強が、かえって人を判断して相手を罪に定めることに使われた
りもします。さらに心配のために、正しくない対策をたてて、事件や問題の後ろにある神様
の計画を逃すこともあります。それなら、どうすれば答えを受けるレムナントになるのでし
ょうか。

私たちは、ときどき自分中心の考えに捕われて、自分の立場から抜け出すことが難し
くなります。ですから、私たちはいつも福音のみことばを持っていなければなりません。
そうすれば、福音のみことばが私の考えになって、いつも祈るようになります。すなわち、
私自身の限界から抜け出す経験をするようになります。すると、三位一体の神様の権威が
私たちの行く先々で力によって働かれるのを見るようになるでしょう。このような
霊的奥義を今から発見するように祈りましょう。どんな状況になっても生かすレムナント
になるでしょう。

きょうのみことば



神様、ありがとうございます。いつも契約の中で神様の力によって勝利す
るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前
によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

神様に祈るとき、福音のみことばと同じくらい重要なことは
私の心の状態と考えるです。私がどんな心と考えを持って祈ることを
神様が願っておられるかを神様に質問して、下のコップに書きましょう。



友だちをきれいな
心を、福音を
伝えるべき
理由をさとして、
愛する心に！



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



3つの しんこう

もくようび

創世記
17章 7～9節

わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナン全土を、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」¹ 神はアブラハムに仰せられた。「あなたは、あなたの後のあなたの子孫とともに、代々にわたり、わたしの契約を守らなければならない。」

アブラハムを神様が召されました。そのとき、神様がアブラハムに大きな祝福を与えて、アブラハムの子孫を通じて世界中の人々が恵みを受けるようになると言われました。しかし、彼は神様がどんな方なのかよく知りませんでした。また、あまりに大きな祝福を言われたので、信じられなかったのです。そのようなある日、神様の恵みがアブラハムに臨みました。神様のみにことばを信じられるようになったのです。信仰を持ったアブラハムのように、私たちが神様の恵みで心にみにことばを受けるとき、三つの信仰が生まれるでしょう。アブラハムもこの三つを信じました。

- 1つ目、サタン²の権威を完全に倒す約束である絶対契約です。
- 2つ目、絶対契約が完全に成り立ったことを信じる絶対成就です。
- 3つ目、世界福音化という絶対使命です。

私たちにも備えられた信仰の時刻表が臨むように祈りましょう。祈りで信仰の確信を味わう一日になるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。絶対契約、絶対成就、絶対使命の祝福を信仰によって受けますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

10. 主のなかにいるわたし

作詞／作曲：ヤン・ジョンミン

♩ = 115 ca.

D

D#dim Em7



主のなかの わたしにー やどられーる主

A

A7sus4

D



いーつもー まもーつてー みちびかーれるよ



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

イエスさまの かんしん

08

きんようび

9 D DM7 D7 G

こ の 世 で - く る し む - た く さ ん - の ひ と

13 Em7 A7 F#m Bm Em A7 D

わ た し と お し す く お う - と か み さ ま の ね が い



イエスはおすわりになり、十二弟子を呼んで、言われた。「だれでも人の先に立ちたいと望むなら、みな^のしんがりとなり、みなに仕える者となりなさい。」
(5)

マルコ
9章 33~37節

人はそれぞれ関心事が違います。マルコ 9 章には、イエス様の弟子の関心事が出てきます。彼らは互いに弟子のうちで誰が一番偉いかと話して、争いまで起こしました。イエス様がこのような弟子たちを見て、みな^のしんがりとなりなさいと言われました。そして、幼子^をを無視してはならないと言われました。私たちは友だちを福音のみことばで生かすレムナントです。ですから、イエス様の関心が私の関心となるべきです。どんなことに関心を持つべきなのでしょうか。

私たちが生きているこの時代は、どんどん福音を失っています。このとき、私たちは福音回復にいちばん重要な関心を持たなければなりません。聖書のレムナントが生きていた時代も、同じでした。それゆえ、彼らは福音回復に命をかけました。その結果、文化を変えて偶像文化、占い文化、迷信文化に陥った時代を生かしました。そして、世界を生かす教会をたてることに命をかけました。

私たちも福音回復のために祈って私にできるまことの献身を見つけましょう。イエス様の関心が私の関心となって、神様が喜ばれるお手伝いをするようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音回復というイエス様の関心が私の関心となるように、神様がいちばん喜ばれるレムナント伝道者になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

かみさまの ちからを
つかう レムナント使徒
1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

神様はすべての人に、福音であるイエス・キリストを通して神様に会って、神の子どもとなると受けることができる祝福を備えておられます。それは、天と地のすべての権威を持っておられるイエス・キリストという神様の力です。ところが、一生に一度も神様の力を味わうことができなくて死ぬ人も多くいます。どのようにすれば、神様のまことの祝福を思う存分使うことのできる証人になれるのでしょうか。

伝道を味わうレムナントです。私たちをレムナントとして呼ばれた神様は、すべての力を持って私たちとともにいると約束してくださいました。聖書には、このような霊的事実が細かく記録されています。聖書のレムナントは全部、神様の力というまことの祝福を味わいました。この祝福が私たちの前に到着しています。どんな場所で、どんな人に会ったとしても、神様に会う道である福音を伝えるレムナントになりましょう。そのとき、神様の力であるイエス・キリストの御名を使って、すべての場所とすべての人を生かすようになるでしょう。神様の力に集中するみことばと契約によって更新する一日になりますように。

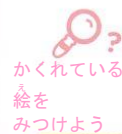


きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様の力を使って、毎日、現場を生かすレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かくれている
絵を
みつけよう

いまでも福音が消えているところには、エジプトに臨んだのと同じわざわいが臨みます。10のわざわいが臨んだエジプトに福音を伝えてすべての人を生かしたモーセを見ながら、下の絵に隠れている絵を見つけてみましょう。

ヒント：聖書にある10のわざわい（出5～12章）



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぎょ
準備する資料